

# 長崎県の離島・へき地の医師確保対策

離島・へき地医療支援センターと地域医療人材  
支援センターとの連携について

## ○背景

- 長崎県は、国内有数の離島県で、大小51の離島に約11万人が生活している。
- このような状況において、離島医療は本県の医療政策上の最重要課題であり、昭和43年に県と離島の市町が一体となって一部事務組合である長崎県離島医療圏組合を設立し、平成21年度からは長崎県病院企業団として五島中央病院をはじめ8病院3診療所を運営する等、離島医療に積極的に取り組んでいる。
- また、長崎県の離島医療は、各市町との密接な連携の中、各離島部に配置された県立保健所と共に地域保健、在宅医療から、一次、二次医療までが一連の流れで住民に提供され、さらに高度な三次医療には本土県央地区にある独立行政法人国立病院機構長崎医療センター及び長崎大学病院が対応するというサポートシステムを実践している。



## ○事業目的

- 医師の大都市集中等地域偏在が進む中、離島・へき地での医師確保はますます困難となっており、市町単独による医師確保策は限界にきていることから、離島の市町立診療所の医師確保を県が全面的に支援する。

## ○事業概要

- 長崎県では、離島・へき地医療を担う医師の確保と、先駆的な地域医療の開拓と実践を行うために、平成16年4月「長崎県離島・へき地医療支援センター」を設置した。
- 機能強化を図るため、平成23年10月から長崎医療センターへ業務の一部を委託し、平成28年4月から委託先を長崎大学病院へ変更している。
- 本センターは、国が推進するへき地保健医療計画に基づく「へき地医療支援機構」の業務を行うとともに、離島・へき地の市町立診療所への常勤医師の派遣や代診医を派遣する等、離島・へき地診療所の支援を行っている。
- また、平成24年度に設置した「ながさき地域医療人材支援センター」と一体となって離島・へき地医療の支援を行っている。

## ○ 長崎県離島・へき地医療支援センターが行う支援について

### 1. しますけっと団(平成18年4月～)

離島・へき地診療所において、常勤医師の学会出席等の際の代診や当直等の診療応援、さらに、常勤医師が退職等により不在となった場合の短期派遣について市町からの要請を受け、支援センターの「しますけっと団」に登録した医師を斡旋することにより、当該地域の医療確保を支援する。

#### • 登録状況

これまでに、4つの医療機関と県内外の40人の医師の方に登録して頂いている。

令和4年度の派遣実績は、4診療所、延べ診療日数243日

## 2. 代診医の派遣

市町立診療所の勤務医師が不在となる場合等に、県が、市町からの要請を受け、ながさき地域医療人材支援センターの専任医師を派遣し、離島・へき地医療を確保している。

なお、市町が派遣要請できるのは、当該診療所が所在する地域の拠点病院が派遣出来ない場合であって、当該診療所の常勤医師が学会出席、研修、厚生休暇、忌引き、急病、入院等により不在となる場合、又は当該診療所の常勤医師が診療応援を必要としている場合としている。

令和4年度の派遣実績としては、3診療所、延べ診療日数68日



### 3. 常勤医の募集・斡旋・紹介

医学雑誌、ウェブサイト及び医師募集説明会等を通じ、医師の求人情報等に係る情報発信を行い、求人問い合わせのあった医師をへき地診療所等へ、斡旋・紹介を行う。また、へき地診療所以外への就業を希望される医師については、地域医療人材支援センターとして希望に近い病院を照会している。

病院勤務を希望する医師に対しては、直接市町や長崎県病院企業団病院（旧長崎県離島医療圏組合）への採用の仲介を行う。

これまでに、常勤医師72名を市町立公設公営診療所、長崎県病院企業団病院（旧長崎県離島医療圏組合等）、自治体病院へ斡旋を行った。

## 4. 医療支援

IT等を活用して、診療所医師の指導及び相談に応じる。

## 5. へき地医療支援計画策定等会議を所掌

へき地医療支援計画を策定し拠点病院、診療所の施設・設備の改善を図る。

## 6. キャリア・デベロップメントシステム補助金

診療所等に勤務を開始し始める及び開始した医師に総合診療を学ぶ機会を与えるため、ながさき地域医療人材支援センターが作成した総合診療医研修プログラムを利用するへき地診療所を運営する市町等に対し、医師の研修受講費用に対する補助を行う。



## ○特徴・効果

しますけっと団やながさき地域医療人材支援センターの専任医師の派遣制度については、各市町では対応が難しい代診医の派遣を行うことができています。

このことにより離島での診療所勤務を考えられている医師にとっては、いざというときは応援をもらえるとの安心感につながり、長崎県内の診療所での勤務を決断いただく要因の一つとなっている。

常勤医の募集・斡旋・紹介については、県内の病院・診療所の採用情報を一元化することにより、勤務希望者の要望に沿った医療機関を紹介することができている。

また、ながさき地域医療人材支援センターの医師が相談対応することにより、各市町の事務職員では対応が難しい医師としてのキャリア形成や、診療上の不安への相談にも対応することができており、このことも長崎県内の医療機関での勤務を決断いただく要因の一つとなっている。

## ○課題・問題点と対応

離島・へき地医療支援センターについては、離島へき地の診療所の医師確保や代診医の派遣について、一定の成果を上げているが、本土と離島間地域格差の是正には至っていない。

本土と離島間地域格差の是正に向けて、引き続き、離島・へき地医療支援センターにおいて、オンライン等も活用した医師募集説明会の実施等を積極的に行いたい。

## ○今後の展開

市町単独による医師確保策は限界にきていることから、引き続き、離島の市町立診療所の医師確保を県として支援していきたい。